



夢の架け橋



令和2年 4月30日 5月1日 NO. 2

しばらくは 離れて暮らす 「コ」と「ロ」と「ナ」

つぎ逢ふ時は 「君」となる

琴浦西小学校の校訓は、『よく考え 助け合う たくましい子』です。それを達成するための教育目標は、①いつも友達と助け合うことができる「思いやりのある子」 ②自ら学び、自ら考えることができる「よく考える子」 ③心身の調和と健康安全に対する意識の高い「たくましい子」と、3本柱があります。

新型コロナウイルスの非常事態で、臨時休校があったり分散登校があったりと、落ち着いて学校生活を送れる環境にはなっていません。一日も早く安全な状態になり、みんなが不安なく元気に学校に来ることができることを待ち望んでいます。世の中の人みんな同じ気持ちでしょう。



だから今こそ、「よく考え 助け合う たくましい子」でなければいけないのです。

自分も家族も友達も、健康であって欲しい。だから、不要不急の外出はひかえます。長い休みになっています。その中で、自分の一日の生活を考えます。自ら学ぶ力となります。「たくましい」というのは、体が強いということだけではありません。特に今は、お家の人の言われることをよく聞いて、自分を律することができるがまん強さが大切です。自分だけではありません。日本国中みんなです。

がんばれみんな！日本中・世界中が力を合わせています

日本だけでなく世界中が、未曾有の出来事に対して、力を合わせています。世界が協力をしています。

『三密を避けるように』『人との接触8割削減』日本国中が励ましあい、そして自分たちの行動を考え合いながら、収束に努めています。日本は、外国のように都市を『ロックダウン』していません。また、法律をもとに処罰を課すことで、外出をさせないといったこともありません。だからこそ、日本は一人一人が自分のために、みんなのために、がまんしながら、そして考えながら行動しなければならないのです。



諸外国からは、『甘い』と言われることもありますが、一人一人の自覚とお互いを信頼している日本というのはすばらしいですね。

「駅前の人混みが、8割減になりました。」「新幹線自由席の乗車率が0%になりました。」「感染者数が、大きく減ってきました。でも、まだまだ油断してはいけません。」 そんなニュースを耳にするたびに、収束を願う期待と共に、日本人一人一人のがんばりをうれしく思います。

過去の私の文章ですが、紹介させていただきます。

「大雪 電車15時間 立往生」 430人、車内で一夜

・・・しかし、いつになっても電車は動かない。1か所しかないトイレは混み合い、何十分も待つ人も・・・ 次第に話す気力もなくなったのか、車内は静まり返っていった。終わりの見えない状況の中、乗客は互いに声をかけ、助け合った。お年寄りや疲れている人に、席を譲り合うようになった。トイレトペーパーがなくなると、乗客同士でティシュペーパーを融通し合った。水と栄養補給食品が届いた時には、みんなで配り合った・・・

携帯電話の電池が少なくなって、家族と連絡が取れない人も多かった。充電器をみんなで使いまわし、車内のコンセントから、少しずつ充電した。(山陽新聞 H30.1.13)



山陰線で起こった出来事です。車掌は、外は視界が悪く外に出ると、命にかかわると判断し乗客に説明しました。みんなそれを理解し、自分だけ脱出しようとしたり、車掌に怒りをぶちまけたりする人はいませんでした。そして、みんなで何とかしようと話し合ったのです。みんなが、励ましあい協力し合ったからこそ、全員が助かったのだと思います。困ったときほど助け合える、『秩序正しい人』 本当に素晴らしいですね。



中庭の「パンジー」「ピオラ」
正門の「ノースポール」です。
みんな冬に咲く花。春の暖かさに
負けずに頑張っています。
**「まだまだ頑張ると！
負けるもんか！」**

ゴールデンウィーク、そして20日までの臨時休業。家での生活ばかり。外で遊びたいでしょう。学校で、友だちと話をしたり勉強をしたりしたいでしょう。
今はがまんの時ですね。

がまんすれば、必ず楽しい時が来ます。だから、

『コロナに負けるな。みんなといっしょに、がんばろう！』